

「Koga インクルーシブフェスティバル 2024」 -12月14日-



「koga インクルーシブフェスティバル 2024」がとねミドリ館で開催されました。駐車場のテントハウスでは各事業所の方々の出店がありましたが、この日は風が強くてたいへんのような感じでした。それでも皆さんが生き生きと活動していました。展示コーナーでは各事業所の作品展示があり、わが「ふれあい」の作品も展示されていました。今年の公演は盲目の和太鼓&パーカッション奏者の片岡亮太さんの力強い演奏と10歳で失明した片岡亮太さんの歩んできた人生での学び、気づき、障害者の視点に触れながら日本と外国との比較、ともに生きること、夢についてのお話を聞きました。誰しものが平等に生きられる世の中を望みたいものだと考えさせられました。 (支援員 O)



活動報告



家族会・SST勉強会に行ってきました -12月11日-

(SSTとはソーシャルスキル・トレーニングの略です)

講師の先生のお話は分かりやすく参加しながらすぐに理解する事ができた。日常生活の中でどう活用すると良い結果が得られるのか考えながらの勉強だった。

毎日の具体的な出来事を思い起こし「これでもよかったのか」「こうすればよかったのだ」と納得しながらの研修で、良い1日となりました。

帰ってから、ある人に「何を勉強してきたのか私も知りたい。私も行きたかった。何か教えてください」と言われ、少しずつ何回も学ぶことだと思いました。 (M・M)

令和6年度ひきこもり地域連携会議に参加しました -11月21日-

11/21(木)茨城県障害福祉課をはじめとする、古河保健所管内のひきこもり支援機関が参加し行われました。各機関のひきこもりに対する取り組みについて発表が行われたのち、「さんぽ相談室」の講演が行われました。社会参加につながった事例を紹介していただきました。

講演後は各機関との意見交換が行われ、予定時間を過ぎるほど活発な議論が行われました。現状の課題としては、ひきこもりの95%が表面化していないことや若年層の増加、支援の長期間化に伴う継続支援の必要性、相談者の専門知識や各機関との連携の重要性・行政に相談や問い合わせがあっても情報提供に留まってしまうこと、暴力を受けていても捕まるのではという懸念から家族からの通報は少ないこと、また最近は親の年金搾取という経済的虐待が多くなっている傾向が多いとお話がありました。

ひきこもりの要因が障害や病気・不登校に由来するなど個別対応が求められる上に、家庭環境においても支援する中で親の高齢化などの変化もあり対応の難しさがあるのが現状と感じました。

ふれあいに通所されている方々は社会活動に参加はできていますが、行政・福祉・医療とのかかわりも多く各機関との連携や情報の共有について積極的に取り組むことが今後の課題と実感し、今後のふれあいの活動において参考になる有意義な会議となりました。 (支援員 H)

ふれあいの活動 あれこれ



11/7(木) やきそば day

風の強い日でしたが、いつものお昼ご飯の時間にファームの東屋で焼きそばを食べました。支援員が鉄板で焼きそばやじゃがいもなどを焼き、とても美味しく、楽しい野外活動となりました。

(支援員 S)



図工の時間

12月の「図工の時間」は、折り紙を使ってクリスマスリースを作りました。鈴やサンタの飾りをつけて素敵に出来上がりました。指導して下さったボランティアの皆さんありがとうございました。



1人ずつよく教えてもらいました。よくできて嬉しかったです。

クリスマス会

12/23(月)日頃お世話になっている理事さんや送迎ドライバーさんと一緒にクリスマス会が行われました。食事の後、じゃんけん大会などで楽しく素敵な時間を過ごしました。

(支援員 I)



虹色ファーム 作業 day

12/10(火)にファーム冬の作業 day が行われました。ボランティア 12名に通所生も多数参加しました。壊れていたビニールハウスの修理、刈ったままに置かれていた笹や落ち葉の片付け、今年たくさんなった単人瓜の棚の取り壊し等冬前の整理整頓ができました。また通所生の男性陣で大きな穴を掘ってくれました。お疲れ様でした。

ファームの活動は、1, 2月はお休みです。野菜の販売も休みとなります。再開は3月からとなりますので、皆さんの参加お待ちしております。

(T・M)



ふれあいに通所希望の方へ

家に引きこもりがち、生活のリズムを整えたいと悩んでいる方、一度遊びに来てみませんか？

まずは見学や体験をしてみましょう。気軽にお問い合わせください。

TEL 0280-48-6719

48-5878

